

事務連絡
平成29年4月11日

「研究大学強化促進事業」
各採択機関御担当者 殿

文部科学省研究振興局学術研究助成課

「研究大学コンソーシアム」への参画について（依頼）

「研究大学強化促進事業」の開始から5年目の中間評価を実施する節目を迎え、これまでの成果・課題に係る情報について、採択機関間の共有とともに、全国的な発信が望まれるところです。

このため、今般成立した平成29年度予算においては、採択機関のネットワーク化を目的とする「研究大学コンソーシアム」形成支援等の新たな取組を盛り込んでいます（別紙参照）。

このコンソーシアムにおいては、シンポジウム・各種検討会等の開催、ホームページ等による情報発信を通じ、本事業における取組の成果の発信・課題の共有を行うとともに、URA等の研究マネジメント人材の流動性の向上・活躍を促進する諸活動を実施することを想定しております。

また、コンソーシアムのとりまとめを担う幹事機関については、本事業のフォローアップにより「大学研究力強化ネットワーク」の構築及び国際的な情報発信の実績を評価された自然科学研究機構に委託することに関し、「研究大学強化促進事業推進委員会」の了承を得ました。

については、各採択機関におかれては、今後、コンソーシアムへ参画の上、幹事機関との連携の下、その活動が所期の目的を達することができるよう、積極的な御協力をお願いいたします。また、コンソーシアムの活動については、採択機関による運営を基本としつつ、本事業の成果の全国的な普及を図る観点から適当と判断される場合、採択機関以外の機関の参加を認めることを予定している旨、了知下さい。

平成29年度予算運営方針のポイント(事業の推進・強化の方向性)

これまでの方式による機関支援①に加え、新たに措置②、③を講じ、WPI事業と連携しつつ、機関レベルのマネージメント改革の取組と一体的に推進することにより、研究力強化の取組を加速。

① 機関支援(継続・54億円)

- 平成29年度実施の中間評価のプロセスを通じて、基本計画等の国家戦略、採択機関の研究力強化構想の再構築・取組内容の焦点化、URAの普及・定着化・取組の内在化を推進。

② プロジェクト重点支援(新規・1.5億円)

※本事業採択機関のうち、WPIプログラム委員会が認定する「WPIアカデミー拠点」を持つものの中から選定

- 拠点形成等の先導的な研究力強化の取組を加速するための重点支援を実施。
- 既採択機関が展開している一定の要件を満たす卓越した拠点(WPIの評価結果や認定基準等)を考慮し、選定。
- WPI拠点で蓄積された拠点形成の経験・ノウハウを事業間連携により、本事業全体にフィードバック。

③ 「研究大学コンソーシアム」形成支援(新規・940万円(①の内数))

※コンソーシアム幹事機関として自然科学研究機構を想定

- 採択機関のネットワーク化を図り、機関の規模・特性に応じたURAの取組・成果発信・情報及び課題の共有化等を推進することにより、全国的な普及・定着化を促進。
- 人材バンク的機能、教育プログラム等を提供することにより、人材の流動性の向上・活躍を促進し、キャリアパス形成を支援。
- WPI事業と連携し、相互の事業の成果・課題・情報の共有化、広く関係機関に発信。

〈具体的活動例〉

- ・情報発信・共有のための各種コンテンツの作成・運用
- ・WPIとの連携を含むセミナー・研究会、シンポジウム等の企画・開催
- ・URAを含む研究マネジメント人材のキャリアパス形成支援プログラムの検討・実施 など